

青い波北陽台

夏に想うⅡ

校長 西田哲也



早いもので北陽台高校での二回目の夏を迎えている。玄関先の鉢植えも、いつの間にか紫陽花からハイビスカスへと入れ替わる季節となった。

この春から夏にかけ、自然界は例年通りの営みを繰り返しているが、社会はもちろんのこと、この北陽台高校も例年とは異なる教育活動と学校生活を余儀なくされている。この間、三月の卒業式の規模縮小から夏の三年生の自学合宿の中止まで、どれだけの決断・決定をしたことだろう。長い教員生活においても、この短期間にこれほどの重要案件の中止、延期、縮小を決めたことは初めてである。これらの決定が、外部的にはともかく、次代を担う有意な人材を託されている北陽台高校にとって本当に正しかったのか、良かったのか、と自問自答するばかりである。自身の情報収集力、分析力、洞察力、判断力や決断力等、さまざまな資質や能力を問われているようで、いくつになっても勉強しなくてはならないと、日々痛感させられる。

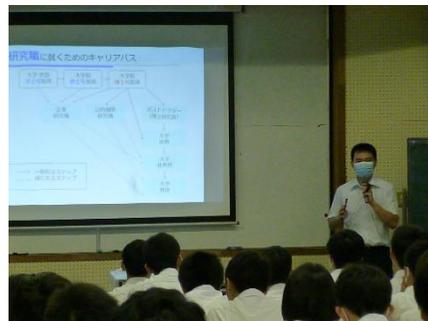
昨年度の一年間、『北陽台生なら、学業・部活動・学校行事の三兎を追え』と言い続け、北陽台生はまさにそのことを体現してくれたと自画自賛している。しかし、今年度の一学期は、その活躍の機会や場面すら与えられなかった。これまで高い目標を掲げ、努力を続けてきた運動部や文化部、理数科等の三年生の無念さや落胆ぶりは想像に難しくなく、また、どんなにやりたいと願ってもやれない、というもどかしさも感じたことだろう。

これらのことは、北陽台生にとっても、私にとっても、ある意味、与えられた”試練”といえよう。一方、「禍福はあざなえる縄の如し」のことわざのように、物事や出来事には両面があるのも事実であり、与えられた”試練”をどのようにとらえ行動するかが問題である。打ちひしがれて落胆してしまうのか、敢然と立ち向かっていくのかは、その人の心や気持ちのありよう、持ちようであり、その後の人生にも影響を及ぼすことであろう。

さて、一学期末考査や校内競技大会も終わり、徐々にではあるが、学校生活も平常を取り戻しつつある。もちろん感染症対策を取りながらではあるが、次に向かって着実に準備を進める必要がある。三年生は自身の進路達成に、部活動生は三年生が果たせなかった目標達成に向け、すべての北陽台生が、顔をあげ、敢然と『三兎を追う』姿を期待している。

第1回理数科講義

7月9日(木)に、長崎県立大学看護栄養学部の飛奈卓郎先生を講師としてお招きし、理数科1・2年生を対象に「Exercise Is Medicine - 高校生からできること -」と題した講義をしていただきました。運動が体にもたらす様々な効果について、生徒たちは非常に興味深く聞き入っていました。講義を終えて、これからは積極的に運動に取り組もうと決意する生徒もいたようです。



生徒会役員任命式

7月14日(火)に、生徒会役員任命式が行われました。新生徒会役員のメンバーは以下のとおりです。

会長	久田 脩平
副会長	元村 遼人
	西野 百華
議長	中村 來未
副議長	飯田 帆香

壇上で決意表明を行う
新生徒会長の久田君



「新生徒会長になりました、久田です。みなさんからいただいた一年間を、この北陽台高校をより良いものにするために使います。みなさんのご協力をよろしくお願いします。」

8月の主な行事予定

※7月22日～8月7日、8月20日～8月31日は授業日になっています。

8月 8日(土)	2年ハイレベル模試
8日(土)～9日(日)	3年校外マーク模試
9日(日)	長崎原爆の日 平和学習 登校日
10日(月)～15日(土)	学校閉庁日
20日(木)	開始式 1・2年校内実力試験 3年授業
22日(土)	校外オープン模試(3年) 土曜自学(1、2年)
25日(月)	歯科検診
27日(木)～28日(金)	歯科検診
29日(土)	土曜自学(1、3年) GTEC(2・3年希望者) GPS-academic(2年)



校内競技大会

7月13日(月)の午後と14日(火)に校内競技大会が実施されました。14日(火)の早朝はあいにくの雨模様となってしまいましたが、ぬかるんだグラウンドでも全力でプレーする生徒の熱意が届いたのか、次第に晴れ間が見え始めました。どの学年も息の合った応援や力強いプレーを見せ、久しぶりの全校による学校行事を目いっぱい楽しんでいるようでした。

※種目別優勝チーム

- バスケットボール
 - 男子 2年6組
 - 女子 1年6組A
- バレーボール
 - 男子 3年5組
 - 女子 2年1組
- サッカー
 - 男子 1年4組
 - 女子 3年2組



学年主任より

1 学年主任 下村 かおり

「充実した夏を」

英語の教科書の中にしばしば「持続可能な社会」という言葉が登場し、地球温暖化や人口爆発、エネルギー問題、水問題など、様々な話題が取り上げられています。SDGsという言葉も一般的に浸透してきたようです。本校でも、「総合的探究の時間」の一環としてSDGsのワークショップを開催する予定ですが、今後ますます幅広い知識や智慧を持つ人材が求められる世の中になるのだとつくづく感じさせられます。

さて、42回生にとって高校生活初の夏が始まりました。本来ならば、3泊4日の自学合宿で1日約10時間の学習を行い、学習習慣の確立を図る時期です。文理選択も確定し、今後はより一層、自分の将来と真剣に向き合っていくことになります。自分裁量の時間を捻出しやすいこの時期、何か新しいことにチャレンジしたり、興味・関心のある分野について深く学んだりなど、自分磨きをする、そんな過ごし方をしてほしいと思います。

2 学年主任 守 慶直

「行事で盛り上がる」

先日行われた校内競技大会は、久しぶりの学校行事ということもあり、試合をする生徒、応援をする生徒、どちらもいつも以上に熱が入っていたように思います。こういう場を通してクラスの絆が深まっていくのだと改めて感じました。3年生の情熱は際立っており、体育大会に向けての練習など、3年生を中心に北陽台全体が盛り上がっていくのが楽しみです。2年生は、来年は自分たちが下級生を引っ張っていくという自覚を持って3年生の動きなどを見ながら活動してほしいと思います。文化祭も例年よりも縮小して行われますが、準備を通してさらに絆を深めてほしいと願っています。

また、8月に入ってから1週間ほど授業日が続きます。例年より長いことや暑くなってくることもあり集中が削がれることもあるかもしれませんが、遅れを取り戻すため、一つひとつの授業に真剣に取り組ましましょう。

3 学年主任 林 圭介

「夏の過ごし方」

三者面談を経て、再度、志望校や日々の学習への取り組みを考えてみる良い機会を得たと思います。担任の先生から受けたアドバイスを基に、目標に向かって頑張っていってほしいと思います。この夏の過ごし方については、22日(水)に学習計画を作成してもらうので、具体的な学習内容と学習方法を想定しながら、悔いの残らないように、よく考えてほしいと思います。

29日(水)・30日(木)に、「校内自学合宿」と銘打って、自学と質問の2日間を過ごします。例年の自学合宿に比べて、かなり規模を縮小していますが、「苦手な教科・分野の克服」などを目標として、効率的に取り組んでください。

この後は、8月8日(土)・9日(日)の全統マーク模試や、大学別オープン模試などが控えています。それぞれの模試において、「これだけは理解して受験しよう」などという、小さな目標を立てつつ、学力向上に勤しんでいきましょう。